

3) 産業

①就業人口

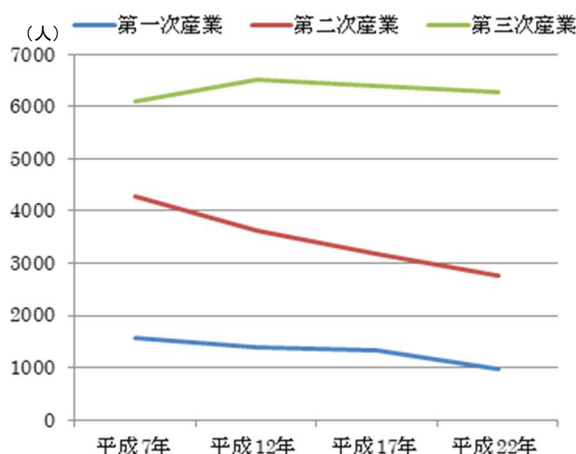
本市の産業別就業人口を見ると、平成12年から平成22年にかけて第1次産業、第2次産業、第3次産業のいずれも減少し、市全体の就業人口も、平成12年の11,539人から平成22年の10,011人へと12.4%減少している。

産業別にみると、平成22年の第1次産業は9.7%、第2次産業は27.7%、第3次産業は62.6%となっており、第3次産業の比率が最も高くなっている。経年的には、第一次産業割合が減少傾向にあり、逆に第3次産業の従事者割合が年々増加している。

資料 2-7 産業別人口推移

	第一次産業	第二次産業	第三次産業	就業総人口
平成7年	1,332(12.2)	3,164(29.0)	6,401(58.7)	11,935(100%)
平成12年	1,383(12.0)	3,635(31.5)	6,521(56.5)	11,539(100%)
平成17年	1,370(12.5)	3,125(28.5)	6,461(59.0)	10,956(100%)
平成22年	971(9.7)	2,769(27.7)	6,271(62.6)	10,011(100%)

多久市資料より



資料 2-8 産業別人口推移

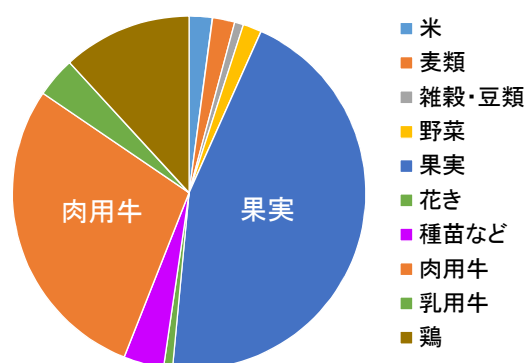


写真 2-2 長崎自動車道と多久北部工業団地、農地

②農業・工業・商業

農業総産出額は、348 千万円であり、その内訳は右図のようにナシ、ビワ、モモなどの果実が約半数を占め、次いでブランドとして定着した肉用牛となっている（農水省市町村別統計より）。

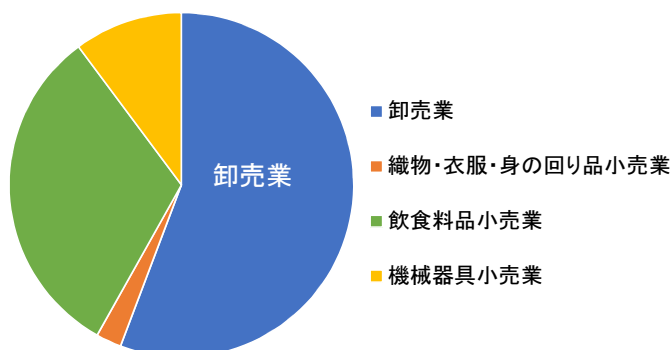
工業の製造品出荷額は、6,561 千万円（平成26年）であり、従業員総数は1,990人となっている。特に、公表されている出荷額では、自動車製造業の関係で金属製品製造業が最も多く、次いで高速道路のインターチェンジ近くに立地した印刷・同関連業となっている。（経済産業省工業統計より）



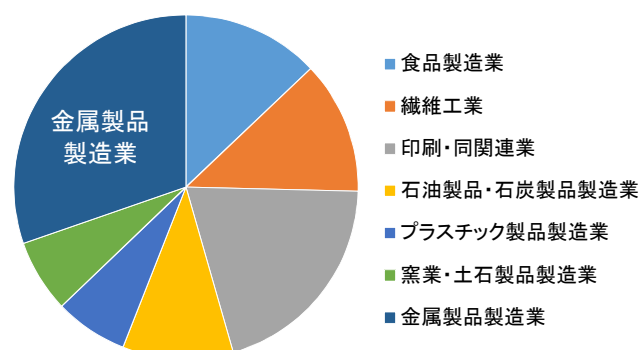
資料 2-9 農業産出額の内訳
(平成27年)

さらに、商業の年間商品販売額の総額は 19,447 百万円、 従業員数は 853 人となっている（平成 26 年）。

販売額は食肉などの卸売業が半数以上を占めている。（経済産業省商業統計より）



資料 2-10 年間商品販売額の内訳



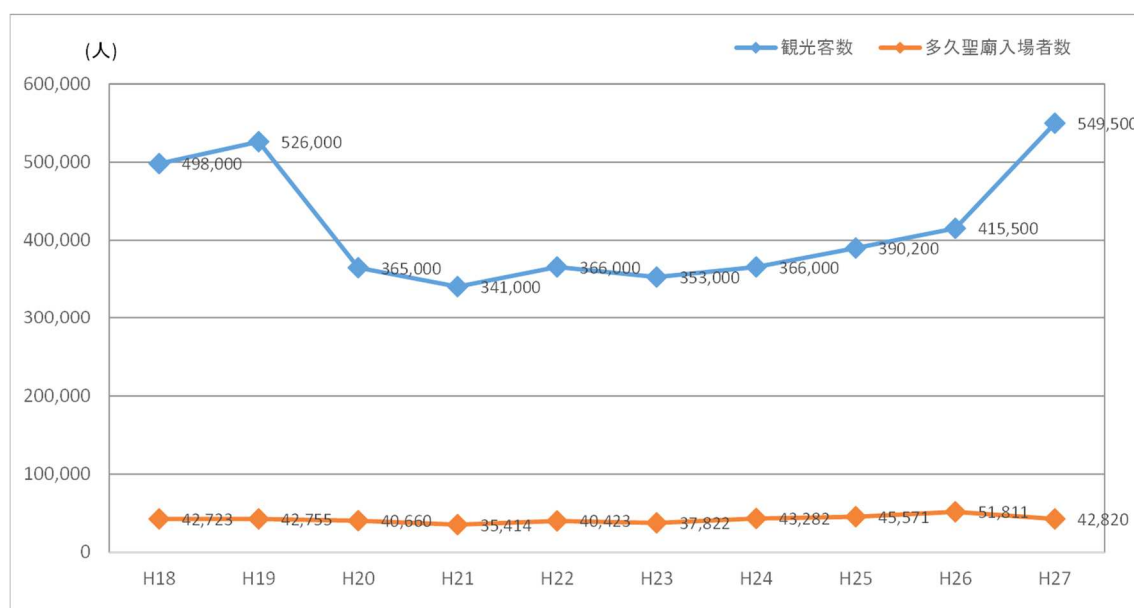
資料 2-11 製品出荷額の内訳

③観光

多久市に訪れる延べ観光客数は平成 19 年には 52 万人を超えていたが、平成 20 年から平成 25 年までは 40 万人を下回っている。その原因として民間保養施設の閉鎖がある。またその後平成 26 年には 40 万人に回復、平成 27 年には駅前施設「あいぱれっと」開館により約 55 万人に戻った。

資料 2-12 多久市の観光客数と多久聖廟入場者数（H27 佐賀県観光客動態調査）

	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
観光客数	498,000	526,000	365,000	341,000	366,000	353,000	366,000	390,200	415,500	549,500
多久聖廟入場者数	42,723	42,755	40,660	35,414	40,423	37,822	43,282	45,571	51,811	42,820



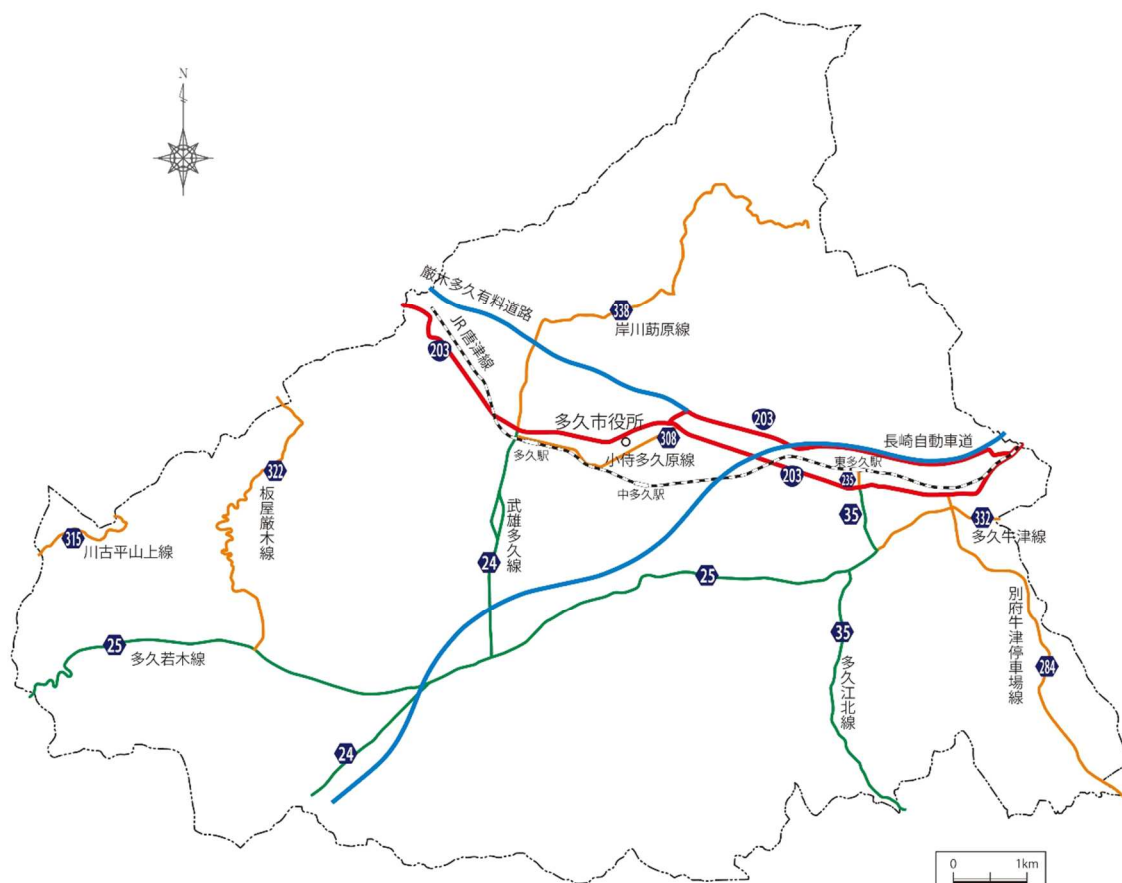
資料 2-13 多久市の観光客数と多久聖廟入場者数

4) 交通網

多久市の道路網は、長崎自動車道（多久インターチェンジ）、^{きゅうらぎたく}厳木多久有料道路、国道 203 号と 3 路線の主要地方道等を主軸として構成されている。

このうち国道 203 号はかつての唐津往還の一部路線が含まれる。また、県道 25 号多久若木線は旧伊万里往還であり、西側は女山トンネルを通り武雄市と接している。

鉄道については、佐賀駅と唐津駅を結ぶ JR 唐津線が市内を東西に横断しており、東多久駅、中多久駅、多久駅の 3 つの駅がある。



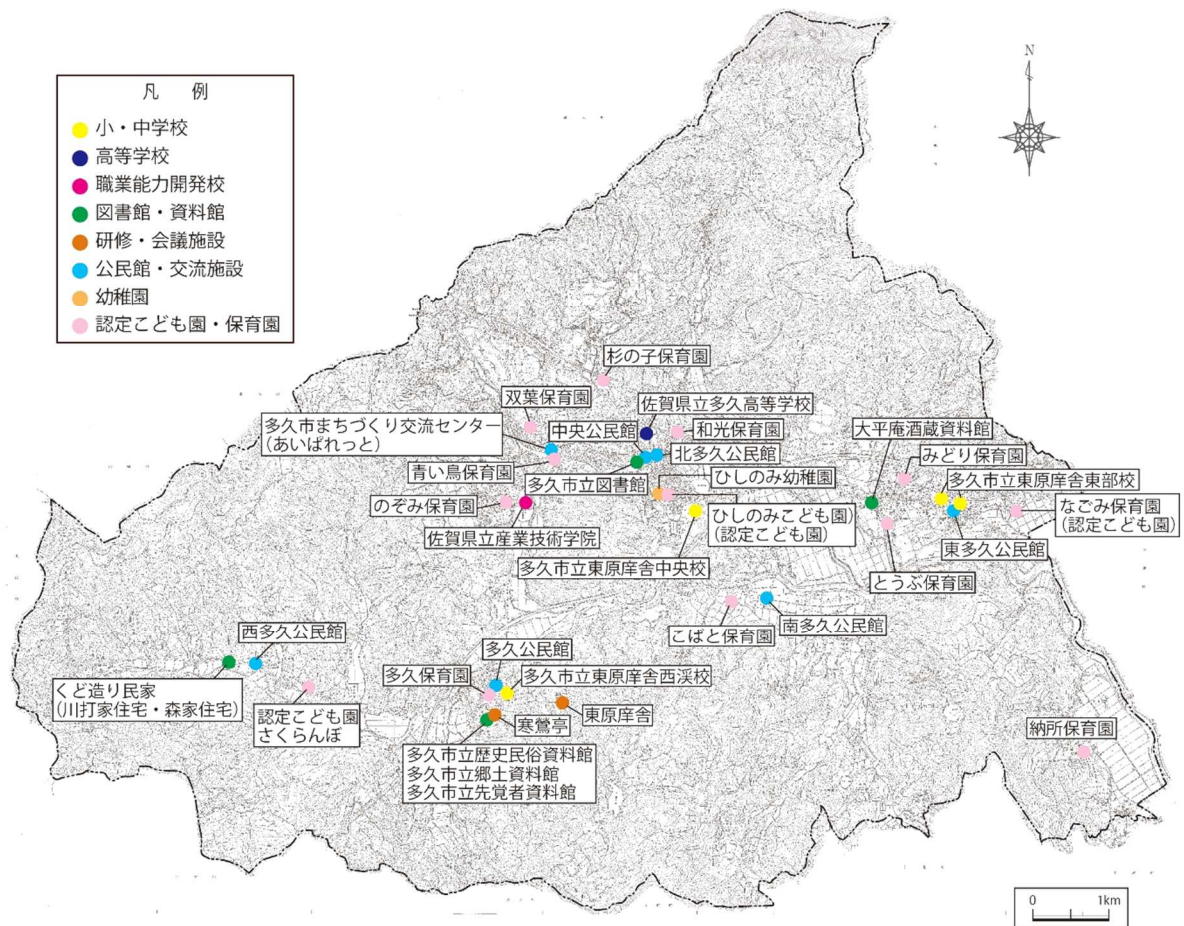
資料 2-14 多久市の交通網図

5) 文教施設等

市内の小中学校は、義務教育学校多久市立東原^{とうげんしょうしや}庫舎東部校、東原^{とうげんしょうしや}庫舎中央校、東原^{とうげんしょうしやせいけい}庫舎西溪校がある。高校では佐賀県立多久高校、職業能力開発校として佐賀県立産業技術学院がある。

中央公民館をはじめ各地区には公民館がある。情報施設としては中央公民館 2 階に図書館があり、多久町西溪公園内に資料館（郷土資料館・先覚者資料館^{せんかくしや}・歴史民俗資料館）がある。近接する東原庫舎や寒鷺亭は研修・会議施設としても利用できる。また、くど造り民家（川打家住宅^{かわうちげ}・森家住宅^{もりげ}）や大平庵酒蔵資料館では近世から伝わる住まいや酒造技術などを見ることができる。

そのほかに保育園が 10 園あり、うち 3 園は認定こども園となっている。



資料 2-15 多久市の文教施設等位置図



写真 2-3 あいぱれっと



写真 2-4 多久市立東原庫舎西溪校



写真 2-5 中央公民館



写真 2-6 宿泊研修施設 東原庫舎



写真 2-7 多久市郷土資料館

市内には中央公園をはじめ、自然に触れ合えるものとして今出川ふるさと公園や岩屋山溪桜公園、宝満山公園などがあり、歴史や文化と親しめる西溪公園がある。運動公園や施設としては、中央公園周辺に陸上競技場や野球場、体育センター等があり、各地には北多久運動広場、東部ふれあい運動広場、西多久多目的運動広場、船山キャンプ場がある。

また、西多久町の指定文化財のくど造り民家に隣接する多久市ふるさと情報館「幡船^{ばんせん}の里^{さと}」がある。なお、宿泊施設は北多久に富亀^{とみかめ}和旅館^{わりやう}と多久シティホテル松屋がある。

